

青森SCD・MSA友の会 出逢い ミニ通信 9号

私たちが利用できる社会資源の活用 その4

*2018年医療福祉諸制度学習会資料抜粋

《障害者総合支援法》

障害者自立支援法を改定する形で、2013年4月に正式名称を「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」障害者総合支援法が施行されました。

この法律が難病のある人も対象に含めたことにより、難病のある人で法律の定める条件を満たす人は、身体障害者手帳の有無に関わらず、さまざまな福祉サービスを障害や難病のある人個々のニーズに応じて組み合わせ、利用できる仕組みを定めています。

1) 自立支援給付の内容

①介護給付

- ・居宅介護（ホームヘルプ）
- ・重度訪問介護
- ・同行援護
- ・行動援護
- ・重度障害者等包括支援
- ・短期入所

②療養介護

- ・生活介護
- ・施設入所支援

③訓練等給付

- ・自律訓練
- ・就労移行支援
- ・就労継続支援
- ・共同生活援助（グループホーム）

④自立支援医療

- ・更生医療
- ・育成医療
- ・精神通院医療

④補装具

3) 補装具の交付と修理

*障害のある部分を補って、日常生活や職業生活を容易にするために用具（補装具）の購入や修理費を支給する。

※暮らしやすくするための「日常生活用具」とは異なります。

*職業その他日常生活の能率の向上を図るために、身体障害児については将来社会人として独立自活するための素地の育成・助成のため、補装具の給付と修理を行なう。

*給付対象

- ①義肢 ②装具 ③座位保持装置 ④車いす ⑤歩行器
- ⑥電動車いす ⑦歩行補助杖 ⑧重度障害者意思伝達装置
- ⑨盲人安全杖 ⑩義眼 ⑪眼鏡 ⑫補聴器 ⑬起立保持具
- ⑭座位保持いす ⑮頭部保護帽 ⑯排便補助具

*身体障害者手帳を持っている人。

4) 日常生活用具の給付

*障害者に対して、特殊寝台等の日常生活用具を給付又は、貸与することなどによって、日常生活の便宜を図るもの。段差解消や手すりの設置など、小規模な住環境の改善を行なう場合に住宅改修費の支給がある。

*負担：原則1割の定率負担。低所得者等に配慮した負担軽減（生活保護世帯の方は自己負担0円、地域生活支援事業の月額負担上限額の設定など）あり。

※それぞれの種目には給付限度額が設定され、給付限度額を超えた額については全額自己負担となる。

*厚生労働省告示により用件及び用途、形状等が定められている。

*身体障害者手帳の有無にかかわらず、難病患者等であると確認出来た場合には給付の用件の可否を市町村で判断する。

3年10月5日発行
青森SCD・MSA友の会
青森市金沢5丁目11-11
TEL: 017-722-0268
E-mail: aomori-scd@outlook.jp

お岩木山をバックに黄金色の稲穂



2) 障害者福祉サービスの流れ

相談申込み	市町村・居宅介護支援事業者
一次判定	調査員の訪問調査+医師意見書
二次判定	認定審査会（上記を参考に判定）
障害支援区分認定	認定審査会（市町村・公益連合）
サービス等利用計画案作成	相談支援専門員（相談支援事業所）
支給決定	障害支援区分 1～6
サービス実施	自己負担は0円～37,200円

一定期間ごとのモニタリング

5) 介護保険と障害福祉サービス

*40歳以上の方（介護保険対象の方）は、介護保険の利用が優先。

*介護保険にないサービスや不足する場合は障害福祉サービスを利用することが可能。

<例えば>

- ・意思伝達装置
- ・オーダーメイド車いす
- ・見守りのためのヘルパー
- ・外出支援

《課題》

- ①介護保険と障害福祉サービスの併給に関する相談及び交渉
- ②人材確保（長時間ヘルパー、吸引等医療処置可能なヘルパー）
- ③コミュニケーション支援（機器のマッチングや進行に応じた対応、使用訓練）
- ④財源の問題

*吸引等医療処置が可能なヘルパーの養成

「医療的ケアの養成研修科目」

①口腔内の喀痰吸引 ②鼻腔内の喀痰吸引

③気管カニューレ内部の喀痰吸引

④胃瘻又は腸瘻による経管栄養 ⑤経鼻経栄養

※青森県では2012年より養成研修を実施している。

※2017年からは③についても養成研修を開始。



地域～お便りコーナー

自主制作映画「10月17日オンライン配信」

東北五地域会員の角田憲勇さんが、車いすや歩行器利用者も安心・安全に暮らせるバリアフリーの町づくりのきっかけになればと自主映画「ありふれたこの町だから」を制作。

十月十七日(日)に五所川原のアルテンシアで映画の上映と主題歌を担当した高橋優躍さんのライブも開催する予定でした。

県内に於ける新型コロナウイルスの感染収束が見通せない状況での上映会開催は、感染予防の観点から厳しいと判断をし、映画の上映と高橋優躍さんの音楽ライブは、オンラインで無



青森市 モヤヒルズ「秋桜」

2021年9月



モヤヒルズ 2021年9月

映画の上映時間は三十分です。
友の会事務局 大柳文行
配信URL
<http://www.youtube.com/watch?v=fmUfvycCmpu>

料配信する。(ユーチューブ)
角田さんはNPO法人「このゆびとまれ」をたちあげ、五所川原市が障害者に優しい街になれるようにと、この活動に一人でも多くの方が参加してくれることを願って活動をしています。角田さんは、普段は歩行器と車椅子を併用しています。

今年、青森SCD・MSA友の会に入会して、東北五地域の交流会に参加をし、近況報告や情報交換などで交流を深めております。

今回の自主映画は、クラウドファンディングを活用して七月から制作に入り八月に編集作業終え、上映に向けて準備を進めてきましたが、予定を変更してオンライン配信となりました。

この映画に、大柳会長夫妻もエキストラとして特別参加いたしました。

角田さんが思いを込めて制作し映画ですので、会員・家族の皆さまは、是非オンライン配信をみて下さい。

友の会事務局 大柳文行
映画の上映時間は三十分です。
配信URL
<http://www.youtube.com/watch?v=fmUfvycCmpu>

在宅医療現場でのスキルアップを目指して



南郷 山の楽校 ひまわりと蕎麦の花

2020年8月

※看護師特定行為研修一期生の五名が一年間の研修を終了

9月15日(水)青森中央学院大学で青森県内初の看護師特定行為研修を受講した五名の看護師が一年間の研修を終了した事が、TVにも放映され、新聞東奥日報の記事にも載りました。

私たちの各地域支部の患者家族の学習会や懇談会の講師をお願いしている「ほくむおんナースステーション」の難病看護師でもある雪田昇一氏が一期生として研修を無事終了した報道がありました。

お疲れ様でした。

厚生労働省が在宅医療の推進を図っていくために、個別に熟練した看護師だけでは足りず、医師の判断を待たずに手順書により、一定診療の補助を行なう看護師を育成し、確保していくために、それを

実施する場合の研修制度を創設し、その内容を標準化することにより、これからの在宅医療等を支えていく看護師を計画的に養成していく目的で、2015年10月に施行され、国の指定研修機関で研修が開始されました。

青森県内では、青森中央学院大学と八戸市民病院が指定研修機関として認定を受けている。

特定行為は二十一分で三十八種類あり、青森中央学院大学では、一区分(二種類)栄養及び水分管理に係わる薬剤投与関連の研修が行なわれました。八戸市民病院は、五区分(十二種類)が行なわれるようです。

今回の研修修了式では、受講生を代表して雪田昇一氏が仲間たちと一緒に研修を乗り越え、スキルアップできた。培った知識と技術、判断で看護を見つめ看護学の発展に努めますと、決意を述べておりました。

青森地域での訪問リハビリでは利用者様になっておられる会員の方もおられますので、医療現場での研修成果を発揮して頑張りたいと思います。